

製造業DXで業務を効率化

# RPA 活用事例

RPAとはの基礎知識から、製造業のRPA導入率、  
製造業の活用シーン、成功事例がまるごと1冊に！





- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる製造業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

# Robotic Process Automation

## RPA = ロボットによるプロセスの自動化

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、「ロボットによるプロセスの自動化」を意味し、「**定型かつ反復的なパソコン業務を自動化できるソフトウェアロボット**」のことを指します。

自動化したい作業手順をRPAロボットに記録しておけば、人が操作するのと同じ様に自動で実行してくれる仕組みになっています。

近年、多くの企業が「DX推進」に取り組みはじめており、人的リソースの削減や業務効率・生産性向上に寄与できるRPAは特に注目を浴びています。



ロボットに毎月・毎週・毎日の「**作業**」をさせることで、人間はより知的でクリエイティブな「**仕事**」へ注力することが可能に。



## 人件費の膨張を抑える

RPAを活用することで作業ボリュームが増えても、今と同じ人員数で業務が運用できる。繰り返し作業に割く時間をおさえられるため、余計な人件費の削減にもつながる。

01



## 業務効率化

日次・週次・月次のルーチン作業をRPAに行わせることで、業務スピード向上による生産性が高まるだけでなく人間はより付加価値の高い業務に時間を割けるようになる。

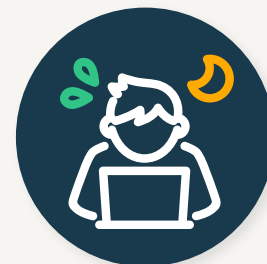
02



## 人的ミスの削減

繰り返しの多い単純作業こそ「ケアレスミス」が付き物。RPAに作業させることで、入力ミスや配信ミスが削減できるだけでなく、修正の時間も減らすことができる。

03



## 残業時間の削減

月末や月初など決まったタイミングで残業が多い職種が、日々の集計・日々の報告業務を、RPAを活用することで、繁忙期の、残業時間の削減が見込める。更に従業員のストレス軽減にも貢献。

04



## 教育コストの圧縮

人員増加に伴う採用も、業務を教えることも、時間・コストがかかること。業務をRPA運用にすることで、採用や教育コストを削減。社員の異動や離職により業務が滞る心配も不要。

05



## 工数がかかる作業（本来はやったほうがいいこと）

本来はやったほうがいいことも、目の前の業務により後回しにされることも。工数がかかることを理由に細かく実施ができていない作業を、RPAは休日・深夜問わず毎日飽きずに実行。

06

## 組み合わせでパソコン上の業務を自動化

### 1 データ入力

ExcelやCSVのデータを  
社内システムやWEBに入力を行う



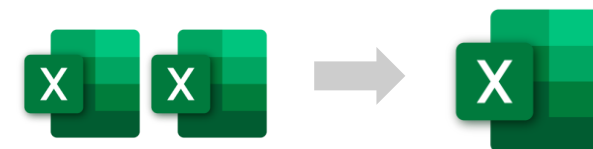
### 2 データ集計

WEB上の数字やテキスト情報を  
Excelにコピーしたり集計を行う



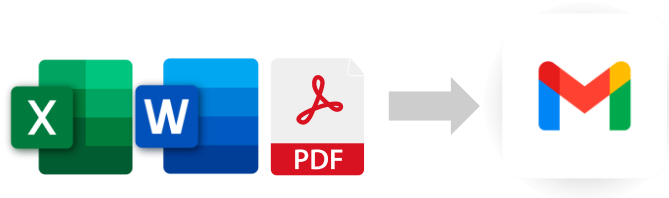
### 3 データ加工

複数のファイルから一つに取りまとめたり、  
違う表に加工・編集を行う



### 4 メール作成・送付

作成したファイルを  
メールに添付し指定宛先に送付を行う



### 5 ファイル保存処理

ダウンロードしたファイルを  
名前や日付をつけて指定のフォルダに保存する



### 6 通知

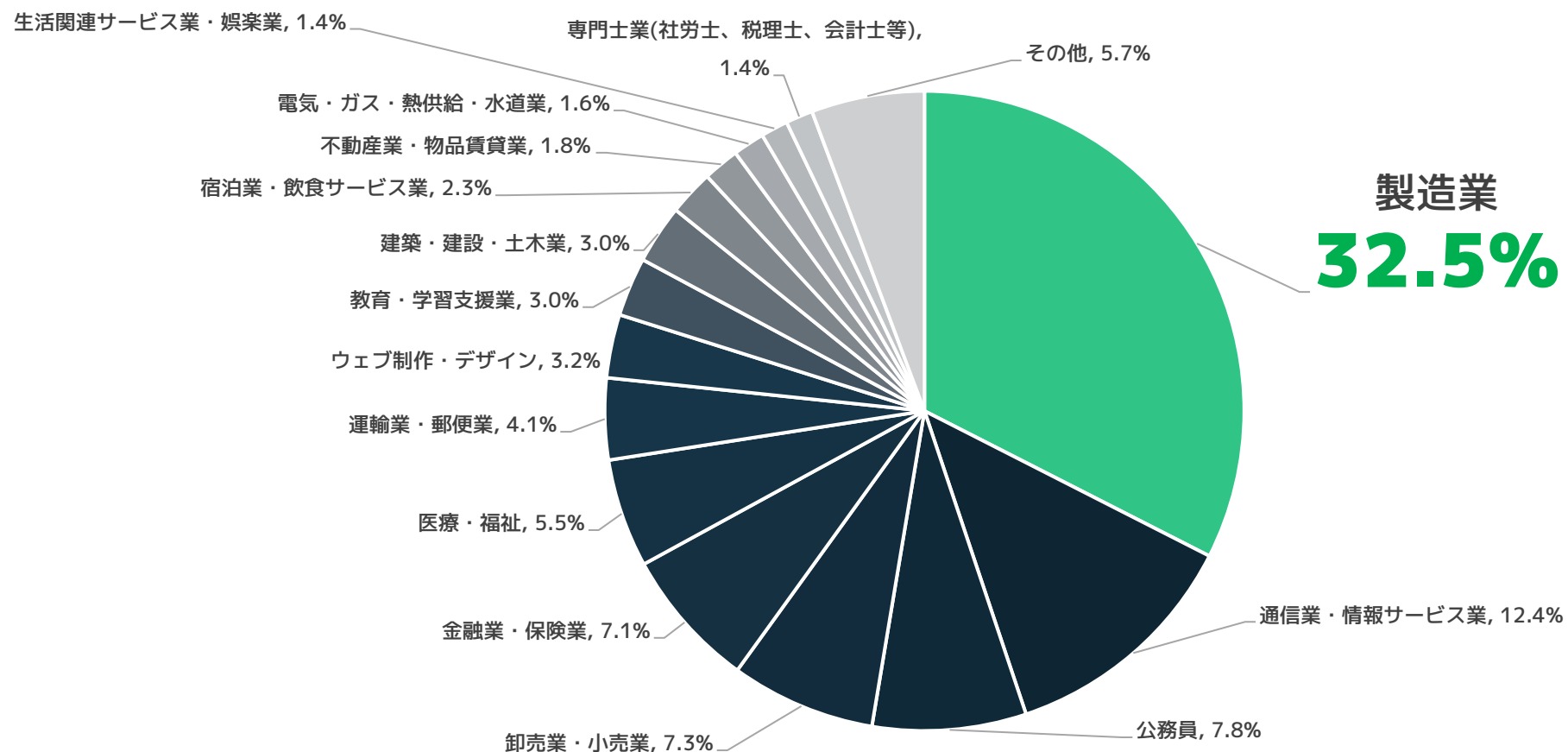
作業前・作業後に  
メールやチャットで通知する



パソコン上で表示ができるソフトウェア・アプリケーションは**すべて操作が可能です**

各業界別のRPA利用率をまとめた結果、RPA導入率が一番高いのが製造業。

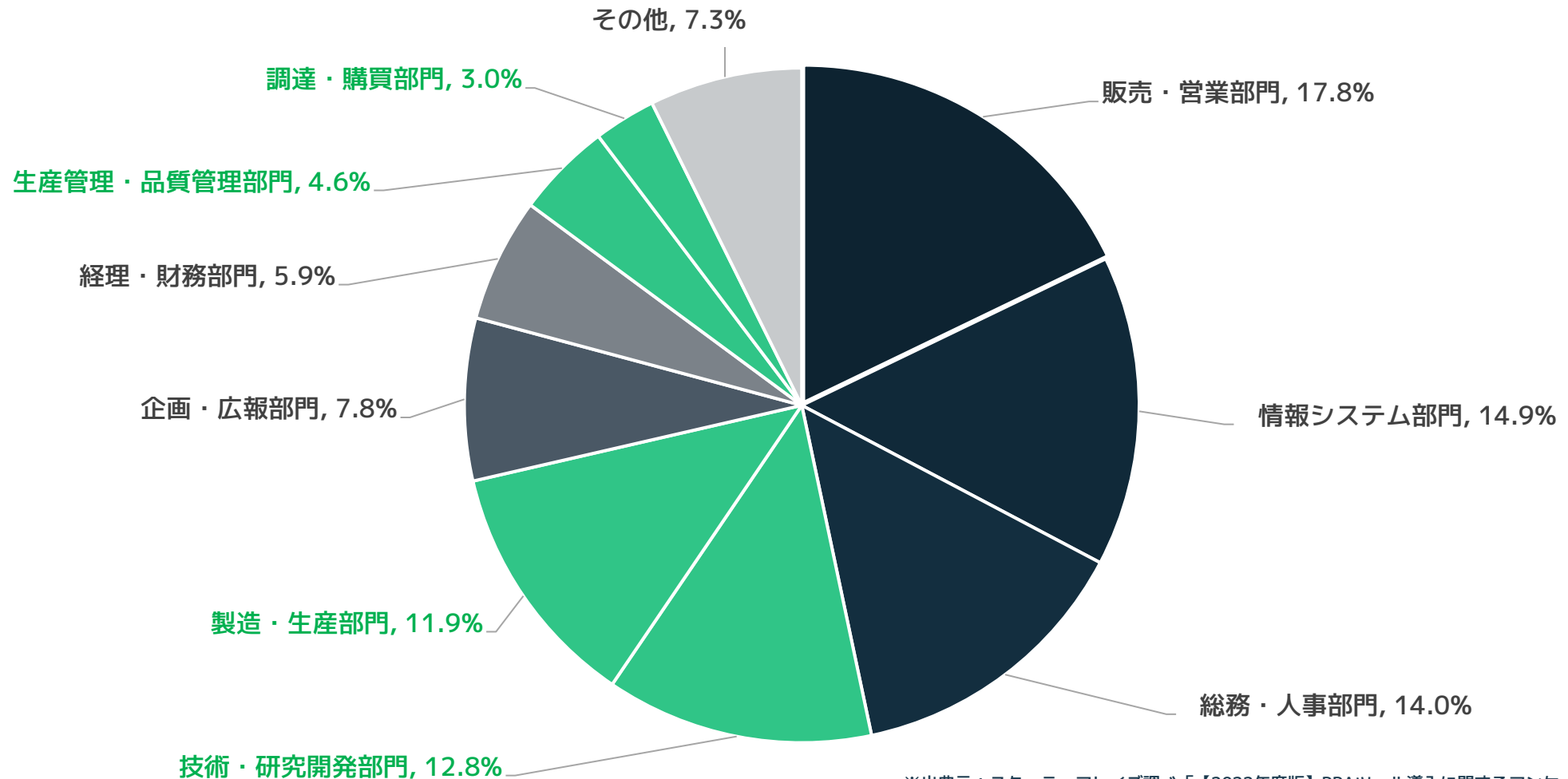
製造業は製造部門をはじめ、品質管理（保証）部門、総務・経理部門まで多岐に渡る定型業務があり、RPA導入の費用対効果が高い。



※n=437

※出典元：スターティアレイズ調べ「【2022年度版】RPAツール導入に関するアンケート 調査結果レポート」

RPAの利用部門に偏りはほとんどなく、平均的に利用されている。また、一般的な営業販売・情シス・人事総務だけでなく、製造業特有の部門での利用も多くみられる。



※n=437

※出典元：スターティアレイズ調べ「【2022年度版】RPAツール導入に関するアンケート 調査結果レポート」

01

## 定型業務が多い

製造業の業務には、在庫管理、受発注・出荷、注文書・納品書の作成、各現場の日報の収集、品質管理の報告など、日次や週次で行うルーティン業務が多く含まれます。RPAは、ルールベースの処理を実行するソフトであるため、定型的な製造業の業務を自動化し、効率的かつ迅速に処理することが実現できます。

02

## 顧客満足度の向上を実現できる

製造～販売～顧客対応まで一貫して行っている企業が多くいます。RPAを活用することで多くの定型業務を自動化し、サポートを含む顧客対応に注力することができ、顧客満足度の向上を目指すことができます。

03

## 基幹システムでの処理業務が多い

製造業では、基幹システムと「受注・販売管理」「在庫・購買管理」「生産管理」「財務・会計管理」などさまざまなシステム・アプリケーションを利用します。ただし、独自の基幹システムを活用している場合も多く、API連携ができず手作業での転記作業・抽出作業が多く発生します。RPAなら複数のシステムを横断して作業を自動化することが可能です。

## 製造業での業務とRPAは相性が良い





- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる製造業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

製造業ではマニュアル化された業務や、在庫管理・品質管理など膨大なデータを扱うためRPAの活用に向いています。  
定型業務を自動化することで時間が創出でき、本来できなかった企画や分析などクリエイティブな業務ができるようになります。



納品書の作成



売上データの分析



生産手配書の印刷作業



受発注・出荷



社内基幹システムへの入力



在庫状況の更新

# (1) 納品書の作成

受注が発生した際にお客様にお送りする商品やサービス内容、数量、単価、合計金額などを記載した納品書。  
RPAなら入力ミスや記入漏れなどのヒューマンエラーなく迅速に処理を行うことができるため、工数削減と品質向上に。

## BEFORE



### 導入前の課題

- ✗ 入力が手作業のため、ミスが多い
- ✗ 繁忙期は特に納品書の作成にリソースを割いてしまい、他業務に専念できない
- ✗ 顧客数分の処理で負担が大きい

## AFTER

RPAによる自動化



### RPA導入後

- ✓ ロボが正確に処理するので正確に納品書の作成が可能
- ✓ 繁忙期でも一定のスピードで遂行
- ✓ 人にしかできない業務にリリースを割ける

## (2) 売上データの分析

販売管理システムから在庫・売上数量をExcelでエクスポートした後、基準在庫、売上ランクの更新作業。  
毎朝処理を行う必要がある場合など、ルーティン業務を自動化することでリソースの確保が可能になります。

### BEFORE



販売管理システムから  
在庫・売上数量をエクスポート



基準在庫や売上ランクの  
更新作業



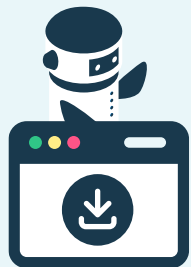
指定の名前を付けて  
フォルダに格納



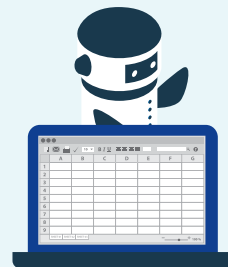
### 導入前の課題

- ✗ 毎朝の同じ作業が発生していた
- ✗ 手作業で行っていたため、毎朝同じ時間を割いていた
- ✗ 他部署で活用するため、納品時間が決まっていた

### AFTER



販売管理システムから  
在庫・売上数量をエクスポート



基準在庫や売上ランクの  
更新作業



指定の名前を付けて  
フォルダに格納

### RPAによる自動化



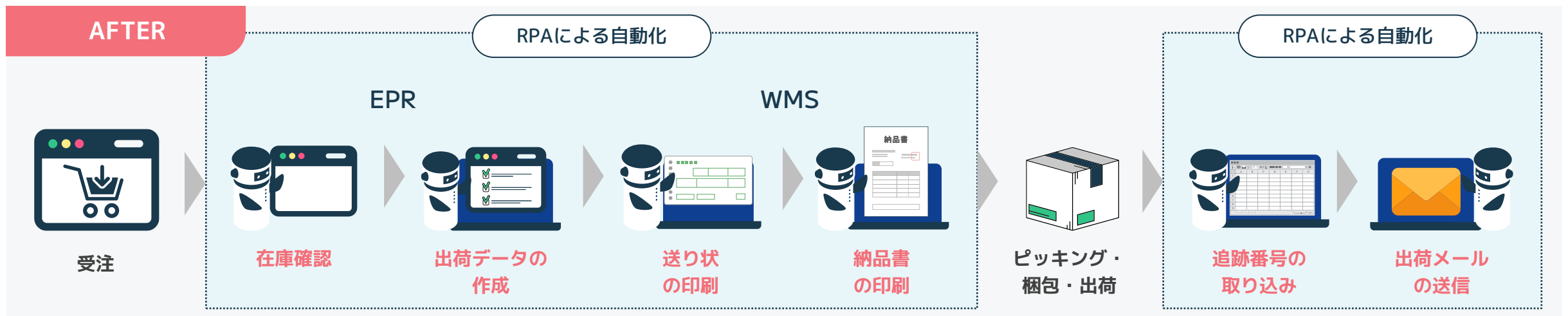
### RPA導入後

- ✓ ロボが正確に処理するので正確にデータ処理が可能
- ✓ 決まった時間に納品できる
- ✓ 指定時間での業務が削減し、他業務へ時間を割くことができる

### (3) 受発注・出荷業務

お客様からの注文情報をERP（基幹システム）に取り込み、WMS（倉庫管理システム）に送信する業務。

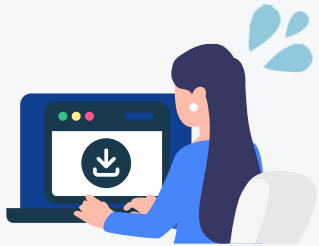
多くの注文を受けた際は1件ずつ対応していくと非常に煩雑な作業です。RPA化することでミスなく処理が可能に！



## (4) 生産手配書の印刷作業

受注後、在庫切れの商品があった場合、該当商品の生産手配をし、お客様に入荷時期をすぐにご連絡しなければならない業務。  
必要な生産手配書の印刷作業を自動化でき、いち早く生産手配依頼が可能になります。

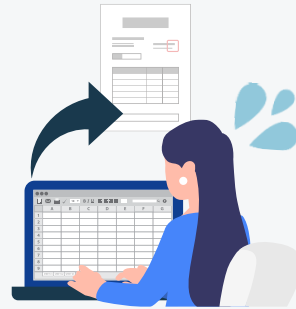
### BEFORE



販売管理システムから  
在庫データをダウンロード



データを参照しながら  
生産管理システムにて  
生産手配書を作成



生産手配書を印刷



生産管理部に提出



### 導入前の課題

- ✗ 生産管理システムと販売管理システムが連携しておらず、すべて手作業で行っていた
- ✗ お客様への連絡に時間がかかってしまった

### AFTER

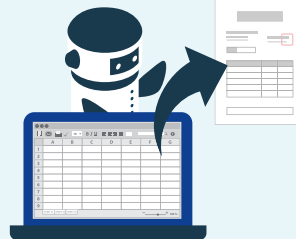
RPAによる自動化



販売管理システムから  
在庫データをダウンロード



データを参照しながら  
生産管理システムにて  
生産手配書を作成



生産手配書を印刷

他の業務で忙しいときも対応できるから、お客様にもスピーディーにご連絡できる！



生産管理部に提出



### RPA導入後

- ✓ 手作業が大幅に削減され、他の業務に時間を割けるようになった
- ✓ 人手不足の場合でも、RPAが対応してくれるので、顧客対応が遅れてしまう心配がなくなった

## (5) 在庫状況の更新

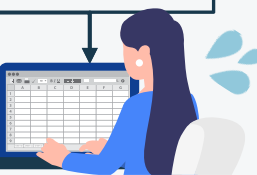
受注内容と在庫管理システムのデータを照合させ、在庫状況をリアルタイムで更新する作業。

業務時間外の注文があった際も、顧客に正しい在庫状況を表示でき、在庫切れのご連絡をする手間を省けます。

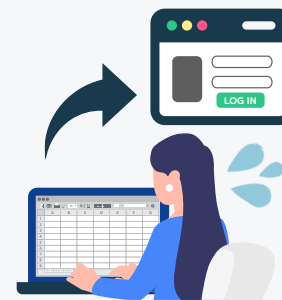
### BEFORE



在庫管理システムから  
データをダウンロード



在庫チェック



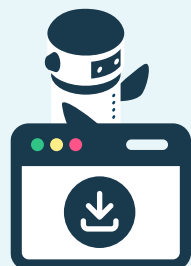
ECサイト管理画面に  
現在の在庫状況を反映



### 導入前の課題

- ✗ リアルタイムに在庫状況が更新できない
- ✗ 在庫切れの商品に注文が入ってしまい、入荷日について通知する業務が発生してしまう

### AFTER



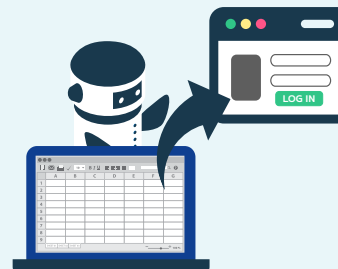
在庫管理システムから  
データをダウンロード



### RPAによる自動化



在庫チェック



ECサイト管理画面に  
現在の在庫状況を反映



### RPA導入後

- ✓ 業務時間外でもリアルタイムで在庫状況を更新できる
- ✓ 在庫切れ商品に注文が入ることがなくなった
- ✓ 生産手配を素早く行えるようになった

## (6) 不良品データの抽出

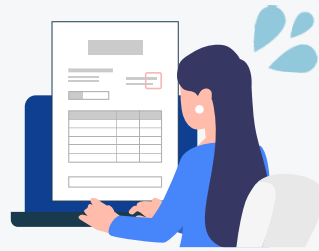
品質管理業務では、品質検査結果の中で不良品と判断されたデータを印刷し、各課への提出作業が発生。

RPAによって出社前に印刷まで完了させておくことで、毎日あるルーティン作業を自動化し、業務を効率化することが可能です。

### BEFORE



基幹システムから  
不良品情報をダウンロード



印刷



各課の上長に提出

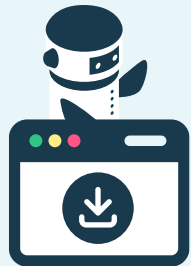


### 導入前の課題

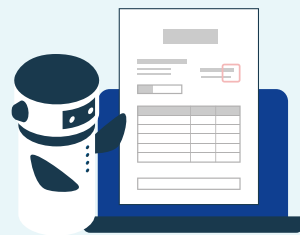
- × 毎日指定の時間までに提出する必要がある、急がなくてはならない
- × 誰でもできる作業にリソースを割いている

### AFTER

RPAによる自動化



基幹システムから  
不良品情報をダウンロード



印刷



人の作業は提出するだけに！

各課の上長に提出



### RPA導入後

- ✓ 今まで充てていたリソースを他の業務に割くことができた
- ✓ 人が急いで行う作業がなくなり、精神的な負担が軽減された



## (7) 業務日報の収集

生産量や点検量など、毎日日報が提出されるデータをダウンロードし指定のフォルダに保存する業務。  
毎日発生するルーティン作業を自動化し、分析に注力できる時間を創出します。

### BEFORE



現場にてiPadで  
日報を更新



クラウドシステムからcsvの  
日報データをダウンロード



所定のフォルダに保存する



Excelのフォーマットに  
転記する



### 導入前の課題

- × 複数ある日報をダウンロードするだけの単純作業が毎日発生していた
- × 手作業で行っていたので、リソースを割かなければならなかった

### AFTER



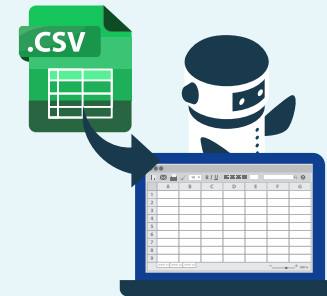
現場にてiPadで  
日報を更新



クラウドシステムからcsvの  
日報データをダウンロード



所定のフォルダに  
保存する



Excelのフォーマットに  
転記する

### RPAによる自動化



### RPA導入後

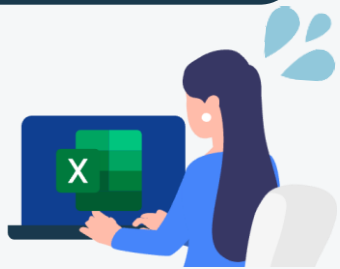
- ✓ ルーティン業務が自動化され、負担軽減につながった
- ✓ ダウンロードしたデータの分析にリソースを割けるようになった

## (8) 給与計算-会計システムへの入力作業

作業着のクリーニング代やお弁当代など、細かに発生する経費の計算作業。

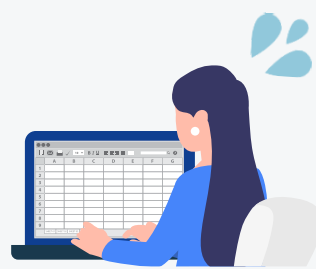
経費集計後に会計システムへ転記するなど、単純作業を自動化し月末の業務負担を減らすことができます。

### BEFORE



費用が発生したタイミングで  
Excelに入力

従業員数分の作業発生



入金する金額を算出



従業員ごとに  
会計システムへ入力



Wチェック



### 導入前の課題

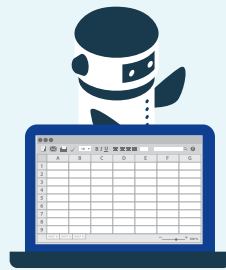
- ✗ 忙しい時期に毎月発生し、リソースを割く必要があった
- ✗ 給与に関わるのでWチェックが必要だった

### AFTER

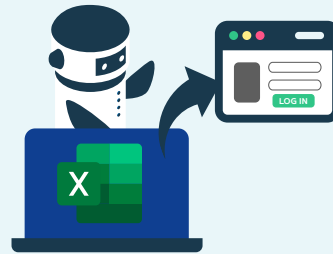


費用が発生したタイミングで  
Excelに入力

RPAによる自動化



入金する金額を算出



販売従業員ごとに  
会計システムへ入力

RPAが正確に作業してくれる  
からWチェックが簡単!



Wチェック



### RPA導入後

- ✓ 他の業務に専念できるようになった
- ✓ 煩雑な業務が自動化され、社員の負担軽減につながった
- ✓ RPAに任せることで正確に処理できる

## (9) 請求書データの入力

取引先から紙やPDFでくる請求書。

AI-OCRとRPAの活用により、ほぼ人の作業がゼロに。ヒューマンエラー削減による品質向上と作業工数の大幅削減を実現できます。

### BEFORE



紙またはPDFデータで請求書を受け取り、システムに入力

チェック・修正依頼

修正作業

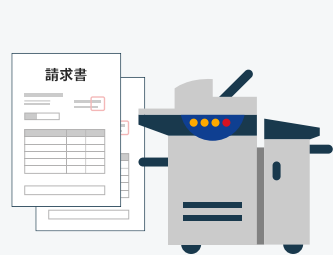
再度チェック



### 導入前の課題

- ✗ 手作業のため入力漏れやミス（ヒューマンエラー）が多発していた
- ✗ お金に関わる重要な業務のため、Wチェックが必要だった
- ✗ 従業員の精神的負担も大きかった

### AFTER



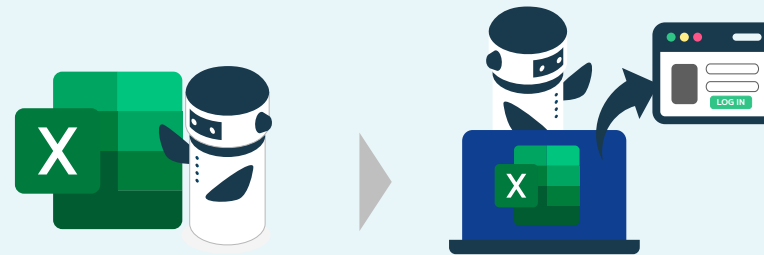
紙で送られてくる請求書をスキャナで読み取りデータ化

#### AI-OCRによる自動化



請求書データをAI-OCRで読み取りテキストデータ化

#### RPAによる自動化



RPAが、AI-OCRからCSVデータをダウンロード

RPAがCSVの情報を社内システムに自動で登録



### RPA導入後

- ✓ 入力業務を自動化したことで作業時間がほぼゼロに
- ✓ 入力漏れ・ミスが削減
- ✓ 重いチェック業務から解放され、社員の負担軽減につながった

下記以外にも、業種・業界関わらず小さな業務から煩雑な業務まで、多くの自動化できる業務があります。  
まずは業務を洗い出し、RPAによる自動化が可能かどうかを判断する必要があります。

|                                       |        |                   |
|---------------------------------------|--------|-------------------|
| Web-EDI処理<br>(受注データの取り込み/入力・伝票印字作業など) | 注文書発行  | 請求書発行             |
| Excelからの仕分入力・集計業務                     | 在庫管理   | SFA/CRMと社内システムの連携 |
| 勤怠管理                                  | 月次締め処理 | 報告書・レポート作成        |
| 校正(試験)証明書の作成～印刷                       | 反社チェック | メール送信・通知          |

**定型業務を自動化し、業務効率化・人的リソース削減を実現**



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる製造業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

## AI-OCR×RPAで手作業で行っていた入出荷業務の多くを自動化。 入力ミスがなくなり、社員の精神的負担軽減も実現

鉄粉をスウェーデンの本社から輸入し、それを直接売ったり、工場の一部加工し販売しているヘガネスジャパン株式会社の埼玉工場（以下同社）。同社では、入出荷業務での紙伝票の発注書PDFデータを統合基幹システムに転記する作業を手作業で行っており、ミスが起きやすいことが課題となっていた。以前からOCRの検討をしていたが同時にRPAを紹介され、さらに入力ミスが軽減できるということで導入の検討を進めた。そして、導入しやすいクラウドシステムである点やコストパフォーマンスの良さから、DX SuiteとRoboTANGOを選択。課題となっていた発注書の処理の一連の流れを自動化し、何回もしていたチェックをする必要がなくなり、「ミスをしてはいけない」という従業員の精神的負担を軽減した。

BEFORE

- 日々発生する発注書を目視で確認し、システムへの転記を行っていた
- ミスがないか何度もチェックをしており、工数がかかっていた

AFTER

- 最大200分/日の作業時間が削減された
- 「ミスをしてはいけない」というプレッシャーから解放された
- AI-OCR・RPAが正確に読み取り転記してくれるので、何度もチェックを行う必要がなくなった

AI-OCR・RPA導入による成果物

1. 最大200分/日の作業時間が削減された
2. 「ミスしてはいけない」というプレッシャーから解放された
3. 何度もチェックを行う必要がなくなった
4. 録画機能で素早くロボを作成
5. 手書き文字も問題なく読み取ることができた

### 入出荷業務のほとんどを手作業

手作業での人的ミス

- ✓ 紙伝票を目視チェック
- ✓ 手作業でシステムへ転記
- ✓ 入力ミスの増加

複数人でのチェック

- ✓ 複数人でチェックで工数がかかる
- ✓ 人的なミスの解消が喫緊の課題

### AI-OCR「DX Suite」とRPA「RoboTANGO」の連携で人的ミスの軽減を実現

紙伝票をAI-OCRで読み取りデータ化

「DX Suite」で紙書類の読取後にExcelデータ化

システムへの転記をRPAで自動化

「RoboTANGO」の録画機能を活用して土台のシナリオを作成

導入の決めて

- POINT 01 手書きの注文書でも全く問題なく読み取れる精度
- POINT 02 読み取ったデータをシステムに転記する作業の自動化

今後の展望

RoboTANGOは2ライセンス導入している。工場で作成したシナリオを共有し、今後は本社の業務効率化を図りたい。



## 毎月発生する経理業務をRPA導入で自動化。 2日かかっていた業務を2時間に短縮し、効率化を実現

愛媛県に本社を持ち、主にコットンや不織布の製造を行っている丸三産業株式会社（以下同社）。同社では、DXの推進・業務効率化を企業方針として掲げており、その一環としてRPAの導入検討を進めていた。複数のベンダーを比較検討しながらトライアル利用を経て、RPAロボットの作りやすさやコストパフォーマンスの良さから、RoboTANGOを選択。経理業務を中心に日々発生する業務の自動化や、これまで2日はかかっていたグループ会社9社の月次試算表作成業務を2時間で完了させるなどし、空いた時間で生産性の高い業務に集中できるようになった。

BEFORE

- 日々発生する定型業務に追われ、生産性の高い業務へ取り組む時間が奪われていた
- DX推進や業務効率化が上手く進んでいなかった

AFTER

- 日々発生する業務を忘れることなく、確実に実行できるようになった
- 月次試算表の作成時間が大幅に短縮され、迅速な経営判断が可能になった

RPA導入による成果物

1. これまで丸2日かかっていた月次試算表の作成作業がわずか2時間に短縮
2. 分析業務のようなお金を生む生産性の高い業務に時間を割けるようになった
3. 毎日定期的に行う業務が自動化されて作業にかかる負担・抜けがなくなった
4. 月次試算表をはじめ、営業実績表の作成や会計伝票の入力、ネット上から情報を抽出してExcelに記録するなどさまざまな経理業務の自動化に成功

### 毎日・毎月発生する定型業務

生産性の高い業務に取り組む時間がない



- 課題
- ✓ 業務効率化の実現
  - ✓ DXの推進

- 必要な対策
- ✓ RPA導入
  - ✓ 定型業務の精査

これまで2日かけていた  
資料作成が2時間で完了！

現在50個程度のロボットを運用



- ロボットが自動作業
- ✓ 時間短縮・ミスの削減
  - ✓ 精査や分析時間を多く取れる
  - ✓ 生産性の高い業務に集中

RoboTANGO 選択の決め手は？

開発のしやすさ・サポート体制  
コストパフォーマンスの良さ

- ▶ 開発の簡単さ・操作実行の正確さ
- ▶ トライアル期間に丸1日つきっきりでサポート
- ▶ 操作を実行したときのスピード感

さらに 他部署でも活路あり！

- ・社内全体で業務効率化を実現
- ・空いた時間で他部署のロボット開発

ロボットが増えて更に効率化UP♪

## 長時間労働の改善策としてRPAを導入 年間4,000万円の経費削減を目指し、働き方改革を推進していく

車の足回りの部品であるボールジョイントという部品を製造している開発型メーカーである株式会社ソミック石川（以下同社）では、生産管理部での長時間残業が常態化しており、会社からも問題提起されていた。同社は、定常業務を削減するためにRPAの導入を検討、フローティングライセンスが決め手となり導入を決めた。導入後は、生産計画室でRPAで自動化させる対象業務を一覧化し、毎日、毎週、毎月発生する膨大な量の定常業務をロボに任せ、残業時間の大幅な減少や、経費削減、在宅勤務率の向上を目指している。将来的にはRPAを社内に広め、社内全体を通して、業務効率化を実現させたい。

**BEFORE**

- 生産管理部での長時間残業が常態化
- マニュアル作業が多い
- 従業員の負担が多い

**AFTER**

- ルーティンワークをロボにお任せ
- 残業時間の大幅な削減・在宅勤務率の向上を目指す
- RPAを通して業務が見える化
- 複数メンバーで取り組み、よりよい効率化を推進

RPA導入による成果物

1. 膨大な定型業務を自動化
2. 業務の属人化の解消
3. 本来行うべき業務に注力できるようになった
4. 業務の可視化により、無駄な業務を発見し、見直すきっかけになった
5. 複数メンバーで取り組み、社内でのRPAの活用を拡大
6. 在宅勤務率の向上

単純なマニュアル作業が多いことで  
従業員の残業が常態化  
していることが課題に...

膨大な  
定常業務

出社必須の  
業務が多い

残業時間過多による  
従業員への負担

業務効率化

- ☑ RPA化対象業務を一覧化し、目標設定
- ☑ 複数メンバーで取り組み、社内でのRPA浸透を計画
- ☑ 属人的な業務をRPAで解消



テスト運用で活用できると実感、月136時間の工数削減を目指す

トライアル期間中に  
活用のイメージつかむ

複数のメンバーで取り組み  
RPAの社内浸透へ

フローティングライセンスが決め手に！  
目標は月136時間分の作業をRPAに移行へ！

残業時間の削減&  
在宅勤務率の向上

本来の業務に  
コミットできる

業務の明確化により  
無駄な作業の発見も

**「DXプロジェクト」業務効率化を目指す**  
RPAを扱えるメンバーを増やし、他部署にも活用を  
広げ、業務効率化に役立てていきたい





- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる製造業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介



POINT  
01

無料トライアル



POINT  
02

サポート体制



POINT  
03

コスト面

POINT  
01

## 無料トライアルで操作感・機能性を見る

- （ロボを内製化する場合）自社のリテラシーに合っているか
- 自動化したい業務が実現できるか
- 作成したロボを修正する際に自社で修正できそうか
- 連携したいシステムとの相性は良いか



POINT  
02

## サポート体制が十分かどうか

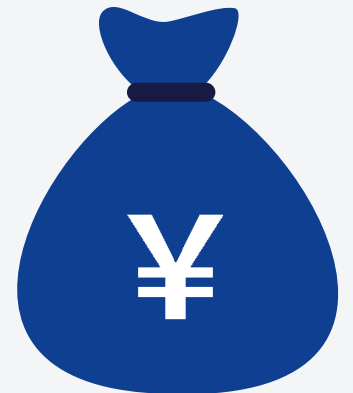
- トライアル時から問い合わせが可能か
- 導入後、初回操作レクチャーによるRPA作成フォローがあるか
- 導入後、使用方法による問い合わせは可能か
- ヘルプサイトや動画コンテンツ等、分からないポイントを調べる場があるか



POINT  
03

## コストが自社に見合うかどうか

- 自社の予算にあった費用感か
- 費用対効果は得られるか
- RPAを学習するためのリソースやサポートコストは低そうか





- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる製造業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

ロボタンゴ

## RoboTANGO は、誰でも簡単に作成・運用できる国産RPAソフト

ロボタンゴは現場フレンドリーなデスクトップ型RPAだから初めてでも安心！低価格でスモールスタートが可能

フローティングライセンス

無料トライアル

オンプレミス

最短利用期間1ヵ月

初心者から使える

複数ユーザーで使える！

無料  
トライアル  
受付中

3週間お試し無料

中小企業への



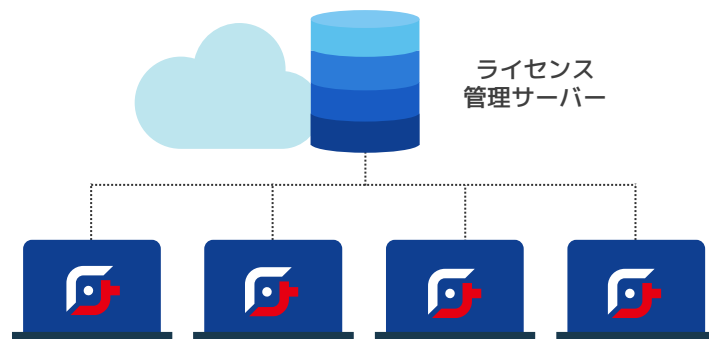
※1) サービスの最低利用期間での解約率0.7% (2022年9月末時点)

### RoboTANGO導入におすすめの方

|       |                                                                     |     |                                                                                        |
|-------|---------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 従業員規模 | 小規模～大規模                                                             | 利用者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>部門・グループ</li> <li>担当者</li> <li>システム部門</li> </ul> |
| 主な業種  | 製造・メーカー、卸売、小売、BtoBサービス、BtoCサービス、医療・福祉、建設、運送・運輸、IT・通信、出版・印刷、不動産、飲食など |     |                                                                                        |

## FEATURE 01

### フローティングライセンス 標準提供



- 1つのライセンスを、複数のPC端末でご利用可能
- 複数のPC・部門・拠点をまたいだ利用できる
- RPAロボットの作成数や実行回数制限なし
- ロボ作成や運用に関わるコストダウンを実現

## FEATURE 02

### 録画機能+ ボタン で簡単記録



- 画面上の操作をそのまま録画することができる録画機能を活用して、短時間でスムーズにRPAロボットが作成可能
- プログラミングの知識や技術が不要

## FEATURE 03

### 低価格で短期間利用できるから スモールスタートが可能

RoboTANGO なら低コストかつ早期スタートが可能 /



- 1ライセンス5万円/月で最短利用期間1ヵ月での利用が可能
- 繁忙期や閑散期に合わせてライセンス数の調整が可能





ITreview Grid Award 2023 Summer

## RPA 3部門で LEADER 受賞

RPA部門「総合・中堅企業・中小企業部門」でLEADERを受賞しました！



とてもプログラムが作りやすい！

言語を組める職員がいない会社で導入しましたが、ものすごい作りやすいです。3拠点で毎日使用しています。サポートも非常に充実していると感じます！

## 導入実績

RoboTANGO（ロボタンゴ）は、中小・中堅企業様を中心に、業種・業態・部門を問わず、多くの企業様にご導入いただいております。



※順不同

RoboTANGOのお問い合わせはこちらから！  
無料トライアルのお申し込みも可能です



お問い合わせ

お電話でのお問い合わせ先

 **0120-277-031**

営業受付時間 9:00～18:00 (土日・祝祭日除く)

無料トライアル  
(お試しデモ)

メールでのお問い合わせ先

 Mail:[info@reiworq.com](mailto:info@reiworq.com)

